

平成17年2月22日
中央防災会議事務局（内閣府(防災担当)）

中央防災会議
「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に関する専門調査会」（第8回）
議事概要について

1．専門調査会の概要

日時：平成17年2月22日（火）14:00～16:00
場所：虎ノ門パストラル 新館5階 「ミモザ」
出席者：溝上座長、阿部、新谷、伊藤、笠原、島崎、杉山、長谷川、濱田の各専門委員、
柴田内閣府政策統括官（防災担当）、原田内閣府官房審議官（防災担当）、他

2．議事概要

事務局から資料の説明を行った後、各委員に御議論いただいた。各委員からの意見等は以下のとおり。なお、詳細な議事録については後日各委員の確認を経た上で公表の予定。

北海道ワーキンググループでの議論を踏まえると、津波の推計については、現状のデータを基にした検討としてはかなり進んだものと考えられる。

津波の再現計算の中には、観測値と数メートル高さが異なるものもある。このような推定にあたっては、必要に応じて局所的な補正を行うなど、防災上の観点からの視点を踏まえた推計を行う必要がある。

当該地域の津波についての問題は、対象とすべき地震が数多くあること、また、過去のものについてはデータが少ない地震があることなど、今回対象としている地震を一律に議論することは困難であり、推計結果の扱いに留意が必要である。

津波に係る情報を示す場合、津波の高さだけでなく、到達時間や流速なども重要な情報であることから、積極的に公表していくべきである。

本専門調査会での広域的でマクロな議論が、地域でのより詳細な検討につながるよう留意すべきである。

過去に発生したデータの少ない地震や津波については定量的な評価は困難であるとしても、注意喚起の意味も含め、専門調査会の検討成果に取り入れていくべきである。

< 連絡・問い合わせ先 >

内閣府 地震・火山対策担当参事官補佐 尾崎 友亮
参事官付主査 宮川 康平

TEL：03-3501-5693（直通） FAX：03-3501-5199